

合同教育研究会議（1月15日開催）議事概要

1 開催日時

令和2年1月15日（水）13:00～14:28

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長、狩野副学長兼企画本部長、堀江副学長兼事務局長、高橋教育支援本部長、似鳥学生支援本部長、村田研究・地域連携本部長、伊東国際教育研究部長、武田看護学部長、桐田社会福祉学部長、猪股ソフトウェア情報学部長、吉野総合政策学部長、千葉盛岡短期大学部長、松田宮古短期大学部長、浅沼委員（学外委員：名古屋大学名誉教授）、菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）

（事務局）葛尾事務局次長兼総務室長、岡部教育支援室長、関屋高等教育室長、鎌田学生支援室長、佐藤研究・地域連携室長、藤村企画室長、長崎宮古事務局長、和山主事

4 会議の概要

議事録確認

前回国議12月11日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

審議事項

なし

協議事項

なし

報告事項（口頭報告）

(1) 高等教育の修学支援新制度に係る入学料及び授業料減免への対応について（資料No. 1）

岡部室長から資料に基づき、令和2年4月施行の高等教育の修学支援新制度に係る入学料及び授業料減免への対応について報告があった。

(2) 本学短期大学部からの編入学に係る入学料減免について（資料No. 2）

岡部室長から資料に基づき、令和2年4月1日入学者から、本学短期大学部からの編入学に係る入学料を減免することについて報告があった。

委員から、県内に住所を有する者と県外に住所を有する者の区分を設けている理由について質疑があり、これに対し、本学は県立大学であることから県内に住所を有する方を優遇しているとの回答があった。

また委員から、県内に住所を有する者と県外に住所を有する者のそれぞれに該当す

る学生には、住所を判断する基準である住民票をいつ異動するか等、様々な事情が想定されると思うが、整合性はとれるかとの質疑があり、これに対し、理事会議において制度が複雑で分かりにくくなることを避ける必要があるとし、資料のとおり了承されたとの回答があった。

(3) **令和元年度岩手県立大学就職内定状況（12月末現在）について（資料No.3）**

似鳥本部長から資料に基づき、12月末時点の就職内定状況について報告があった。なお、総合政策学部及び盛岡短期大学部については、実際は本報告よりも多くの内定者がいることを把握しているとの補足があった。

(4) **「障がい者支援研修会」—誰もが学びやすい大学を目指して—の開催について（資料No.4）**

似鳥本部長から資料に基づき、2月6日（木）に開催する「障がい者支援研修会」について報告があり、教職員の出席について要請があった。

(5) **学術研究費学部等教育研究推進費について（資料No.5）**

佐藤室長から資料に基づき、令和2年度から、学術研究費学部等教育研究推進費の所管を研究・地域連携本部から教育支援本部に変更するとともに、配分積算方法を見直すことについて報告があった。

委員から、本報告において所管を変更することは理解するが、配分積算方法の見直しは、本報告の範囲外ではないか、また見直すのであれば、令和2年度の予算要求の前に、見直すことを学部に示す必要があったのではないかと意見があり、これに対し、今回の報告は所管を変更することであり、配分積算方法を見直すことは参考として報告するもので、見直しの内容は今後検討するとの回答があった。

(6) **中高生国際 Ruby プログラミングコンテスト 2019 in Mitaka 結果報告について（資料No.6）**

村田本部長から資料に基づき、i-MOS が開催した「Ruby プログラミング教室」において指導した滝沢第二中学校科学技術部が、中高生国際 Ruby プログラミングコンテスト 2019 in Mitaka のゲーム部門において、最優秀賞及び優秀賞を受賞したことについて報告があった。

鈴木学長から、高校や高専の教員に対するプログラミングの指導はしないかとの質疑があり、これに対し、今後県から提案を受ける可能性があり、提案を受けたならば議論していきたいとの回答があった。

(7) **グローバル IP を付与した機器の管理について（資料No.7）**

藤村室長から資料に基づき、教員のグローバル IP アドレスを付与した機器に不正ログインがなされ、不正にアカウントが操作された事案が発生したことを受け、現在の管理状況の確認・是正について依頼があった。

(8) **令和2年度4月以降の副学長及び本部長等の予定者について（資料No.8）**

石堂副学長から資料に基づき、令和2年度4月以降の副学長及び本部長等の予定者を内示したことについて報告があった。

(9) 同一労働・同一賃金への対応について（資料No.9）

葛尾事務局次長から資料に基づき、同一労働・同一賃金への対応について、前回（12月開催）の教育研究会議で報告した対応方針のとおり進めることについて報告があった。

(10) 第三期中期計画期間における収支ギャップへの対応状況について（資料No.10）

葛尾事務局次長から資料に基づき、第三期中期計画期間における収支ギャップを解消する手段としての取組の12月までの対応状況について報告があった。

報告事項（資料報告）

(1) 令和2年度推薦入試・各特別入試・震災特別推薦入試の入学手続状況について（資料No.11）

(2) 令和2年度大学入試センター試験の実施について（資料No.12）

高橋本部長から資料に基づき、令和2年度大学入試センター試験に当たり、本学では3つの会場において実施することについて報告があった。

(3) 低学年向け業界研究セミナー「オシゴト展覧会～コミュニケーション編～」開催結果について（資料No.13）

(4) 令和2年度地域協働研究の公募について（資料No.14）

村田本部長から資料に基づき、公募を開始した令和2年度地域協働研究について、応募資格は岩手県内の地域団体等としているが、教員においても、岩手県内の地域団体等と現在研究をしている、あるいは研究を計画している場合は、岩手県内の地域団体等に働きかけて、応募を促していただくよう依頼があった。

(5) 令和2年度政府予算案について（資料No.15）

(6) 令和元年度学長表彰の候補者の推薦について（資料No.16）

(7) 令和元年度第2回ハラスメント防止対策研修会の開催について（資料No.17）

その他

鈴木学長から、企業の新卒採用の在り方に係る経団連の検討の動きは、大学教育全般の議論とともに展開されており、高大接続を含む高校教育にも影響するものであることについて情報共有があった。

鈴木学長から、浅沼委員が今月で任期満了のため退任され、後任の委員を2月に指名する予定であることについて報告があった。